

地域社会に寄り添って成長

フラットエージェンシー 吉田 光一会長の講演から

(株)フラットエージェンシー会長の吉田光一氏は昨年から今春にかけてあちこちから講演依頼を受けて多忙でした。京都人でなく神奈川県横浜市の出身で排他的とされる京都でユニークな会社を立ち上げ成功した理由かもしれません。まさに「余所者、それが古都で个性的で存在感のある企業に育ったのには驚きです。

若い時にヨーロッパを巡り、帰国して京都の街と人に出会い「ここで過ごしたい」と一目惚れ。包容力のある歴史の街に一気に魅了され、以後第二の故郷となり、今では2代目吉田創一社長へ社長職を譲るほどに。

平成11年に資産活用クラブを設立、地域密着を根幹に「地元へ貢献できるまちづくり」へ次々とアイデアを発表、恵まれたスタッフとともに行政や地元からも認められる会社に成長させました。この間に外国人留学生への就職活動にも協力、地域社会への貢献が注目。詳細については同社発行の「ふらっと通信」にまとめられています。

京都市で育った文化を感じさせるユニークな不動産会社への興味から連続して講演の機会が増え、日管協の昨秋の全国支部長会議での話も好評でした。特に地域コミュニティを意識した企業努力の数々は次代の不動産業のあり方の一モデルとして注目です。



全国支部長会議で講演する吉田光一会長